

さやまコモンズが多様な居場所をつなぎ、複合する各機能の相乗効果を生み出します

『さやまコモンズ』が各機能をつなぎとめるように、施設全体に広がります。ここを訪れた人は気軽に本に触れながら、各フロアでの多様で活気に満ちた市民の活動を感じることができます。マチや緑が折り重なる大阪狭山市の原風景のように、市民のアクティビティが混ざりあい、重なり合う大阪狭山市ならではの日常の風景が生まれます。

01// 各機能の交わりを丁寧に結ぶ

相乗効果を生み出す5つの視点

①見える

活動が見えることで知ることができます。賑わいが可視化されます。【**新たな活動を知る / 活動を知ってもらう / 視覚的な賑わいを生む。**】

②空間がつながる

空間が繋がることで賑わいの音や香りを感じ、臨場感・空気感を感じることができます。【**活動を感じる / 賑わいが波及する**】

③空間を共有する

共用部までじみ出した活動に意図せずとも自然に触れることができます。積極的な交わりで予期せぬ出会いが生まれます。【**『知る』を超えて『参加する』新しい関係が生まれる**】

④選択肢がある

賑わいの場所だけでなく、奥まった静かな場所など、多様な選択肢があることで生まれる交流があります。【**新たな交流・多様な交流**】

⑤機能連携

『調理スタジオで作った料理を』『和室で試食』といった機能的な連携に配慮して諸室を配置します。【**使いやすいで選ばれる施設となる / 稼働率がある**】

相乗効果を促進させる『さやまコモンズ』

相乗効果を生み出す各機能の接点には交わりを促すための余白のある空間が必要です。『さやまコモンズ（図書館+共用部）』を施設全体に展開させることで、施設全体に賑わいと交流の相乗効果を生み出す計画とします。

「**①障がい者支援の利用者がさやまコモンズで過ごすこともできるし、みんなに会わずに済む専用の出入口もある**」
②多目的室の活動をうかがえる
③フレイルームが吹抜けと繋がる
④建物全体に広がるさやまコモンズ
⑤多目的室の講師室にも使える会議室

「**⑥多目的室が開放されさやまコモンズまであふれる**」
⑦さやまの丘から本の丘が見える
⑧図書館×カフェ

「**相乗効果を促進させる『さやまコモンズ』**」

a. まなびにつながる エントランスホール

- エントランスホールは、気軽に本を手に取りながら憩える場所とします。
- 地元ベンダーが運営するカフェでは、本格的な焙煎コーヒーを楽しむことができます。
- 『さやまの丘』を眺めて四季を感じられる、多世代の居場所をつくります。



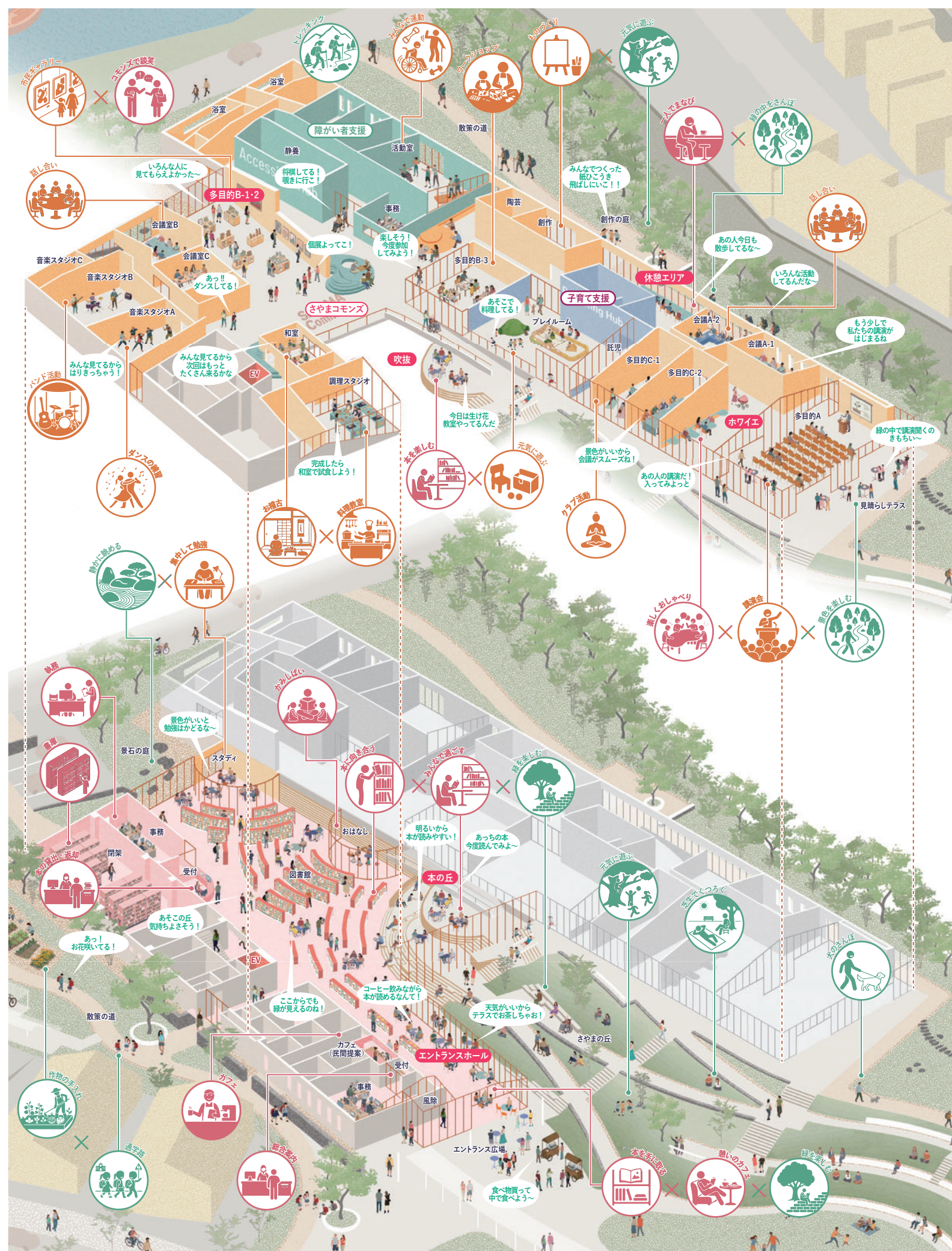
本を読みながら休憩できる、明るいエントランスホール

b. 『本の丘』から広がる、多世代のまなびの場

- 『本の丘』は多世代が気軽に読書を楽しむ、市民の居場所として計画します。北側には『さやまの丘』の豊かな自然を感じられるスペースです。
- にぎわいのある『本の丘』から図書館全体を見渡せるようにすることで、まなびの機会を広げます。



北側に開けた明るい開架閲覧室



c. さやまコモンズとつながる多目的室B-1,2

- 移動間仕切りを開放して『さやまコモンズ』と一体利用すると別の用途で訪れた人がイベントに気づき、参加したくなります。



『さやまコモンズ』にあふれる各室のアクティビティ

d. 市民の活動を見渡せる大きな吹抜

- 開放的で気持ちのよい吹抜を設けることで、様々な活動が見逃せ、今まで知らなかったお互いの活動を知るきっかけとなります。
- 子育て支援機能のプレイルームからは、図書館、調理スタジオなど、様々な活動を見ることができます。



様々な活動が見逃せる開放的な吹抜

e. カウンター席のある、静かな休憩エリア

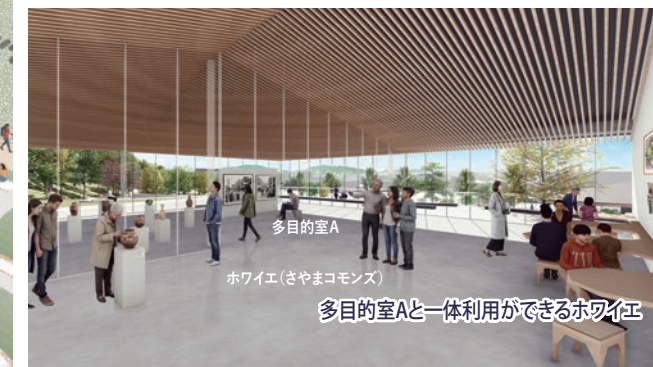
- 西側の落ち着いた景色を眺めながら静かに過ごせるカウンター席を計画します。散歩する人の気配を感じながら、リラックスしたり、読書も楽しめる憩いの場をつくります。



『散策の道』を眺めながら静かに過ごせるカウンター

f. 多目的室とつながる多用途なホワイエ

- 普段は市民の溜まり場として、イベント時は多目的室Aと一体利用ができるホワイエを計画します。市民の活動が見渡せ、マチの景色も眺められる気持ちの良い居場所を提案します。



多目的室Aと一体利用ができるホワイエ



01// マチの受け皿として大きく開く

- ・東側に広がる街並みに対して大きく開いき、市民のアクティビティを受け止めるランドスケープを提案します。
- ・日常の延長にある、歩いて楽しい広場をつくり、大阪狭山市の暮らしやすいまちづくりに貢献します。



マチに開いたランドスケープ

02// 段々状の地形を活かした、回遊できる散策路

- ・地形に沿って道を通し、楽しく回れる散策路をつくります。
 - ・隣の道を歩く人の顔が見え、自然の緑が視覚的に重なる、丘陵地ならではの関係が生まれます。
- 



段差を活かした顔が見える関係性

03// みんなで集まれる、すり鉢状の『みんなの広場』と多目的に使える『エントランス広場』

- ・『はばたきフェスタ』の他、様々なイベント開催が可能です。広場側を舞台とし、散策路のベンチを客席代わりに使えます。
- ・エントランス広場は建物の内外で一体利用が可能です。キャノピーを設けることで、炎天下でも涼やかな日陰をつくります。
- ・キッチンカーなどの車両が乗入れられる計画とすることで、イベント時や災害時など多用途に使える広場になります。



04// 便利で安全、楽しい居場所

- ・広場と駐車場との間に緑のバッファを設け、子どもが安全に遊べるよう配慮します。
 - ・歩車分離を行い、子連れや日常の散策など全ての歩行者の安心と安全性を高めます。
 - ・いちょう通りと西高野街道の両方からのアクセスできる、屋根付きの駐輪場を設けます。
 - ・散策路沿いには休憩できるベンチを設けるなど、多世代が交流できる場づくりを行います。
 - ・雨天時の水はけや、ヒートアイランド現象の緩和のため、透水・保水機能を持った舗装材とします。
 - ・散策路の斜面法肩には脱輪防止措置を講じます。
 - ・散策路はだれもが通りやすい、緩勾配の計画とします。
- 



人にやさしい緩勾配な散策路

05// 豊かな緑の風景を継承する

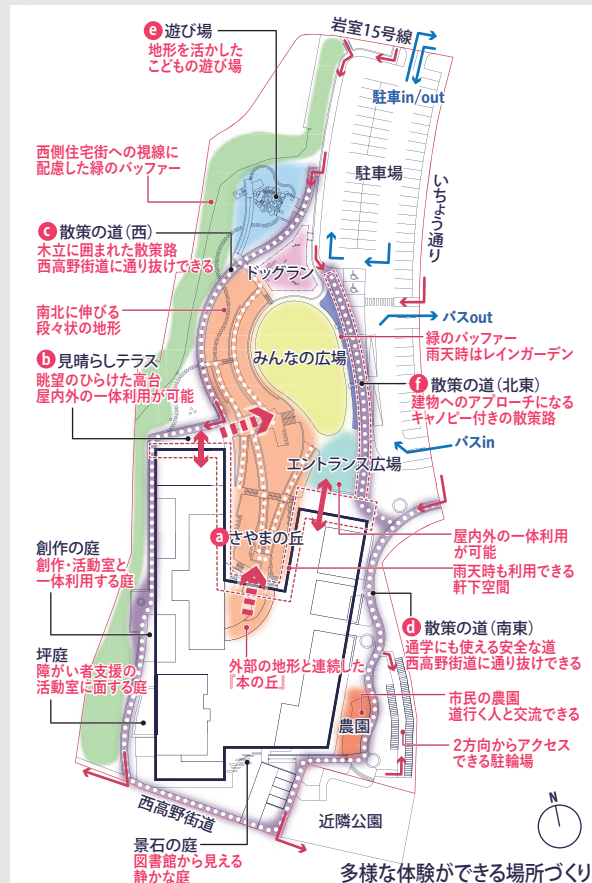
- ・既存の樹木を活かしながら、この地に馴染む植栽を補植することで、「受け継ぎ」、「繋ぐ」緑の環境を生み出します。
- ・緑と建物とが折り重なる見上げの豊かさを大切に、大阪狭山市にふさわしい景観をつくります。

06// 暮らしの延長にある豊かな体験

- 土地の起伏や周辺環境、建物との関係を活かした多様な体験ができる場所をつくります。
 - ドッグランを設け、ペット連れの市民が訪れやすい計画とします。
-



ドッグラン



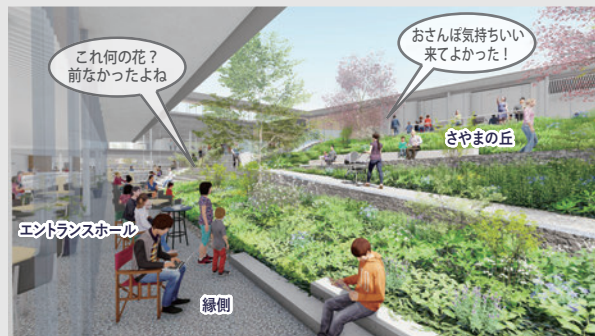
④『散策の道』(西)

- ・市民が日常的に使えるように、建物の西側を通り抜けられる散歩道として計画します。
- ・木立に囲まれ、虫の羽音や小鳥のさえずりが聞こえるような緑の深いミチをつくります。



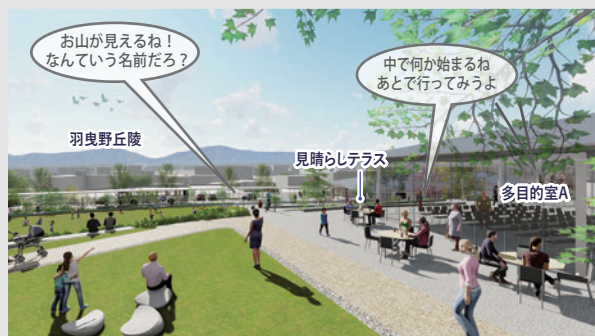
e 遊ぶ場

- ・地形を活かして、自然に親しみながら楽しめる遊びスポットをつくります。
- ・子どもがのびのびのと走り回れるように、ベンチ状の囲いを設け、親が見守れる安全な設えとします。



a 『さやまの丘』(中庭)

- ・四季折々の自然と市民と活動が立体的に重なる、大阪狭山らしい風景を生み出します。
- ・縁側を張り巡らした内部と外部が連続的につながる心地よい軒下空間です。雨天時にも屋外利用が可能です。

**b 『見晴らしテラス』**

- ・ マチや広場を一望できる高台のテラスをつくります。東に連なる山並みを感じられる眺めの良い場所です。
- ・ 多目的室 A と一体的に使えます。アクティビティが内外にまたがる幅広い使い方が可能です。



d 『散策の道』(南東)と農園

- ・建物の東側を抜けられる散歩道です。隣接する公園からもアクセスできる計画とします。
- ・道に沿って市民の農園を設けます。作物の手入れをする利用者と地域の交流が生まれる場所をつくります。



f 『散策の道』(北東)のレインガーデンとキャノピー

- ・草花から季節の移ろいを感じ、レインガーデンで雨を楽しめる自然を感じる散歩道をつくります。
- ・この道を建物へのアプローチとしてキャノピーを計画します。僅かなカーブが風景に奥行きを生みだします。



01// さやまの丘からつながる明るい『本の丘』

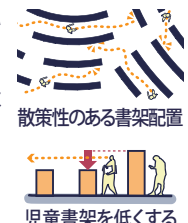
- 直射光を避けた北面に大きく開いて安定採光を取り入れ、明るい閲覧室を計画します。外部の地形を内部に連続させ、外を見渡せる『本の丘』を提案します。
- 階段状のステップに思い思いに腰を掛けながら様々な市民の活動を感じられる、心地よい居場所をつくります。



内外が連続する本の丘

02// わかりやすく、新たな出会いもある書架配置

- どこからでも全体が見渡せるわかりやすい計画とします。
- 目的の本を探しやすく、散策すれば新たな本にも出会える書架配置を提案します。
- 入口に近い児童開架書架エリアは低書架を基本とし、見通しに配慮します。

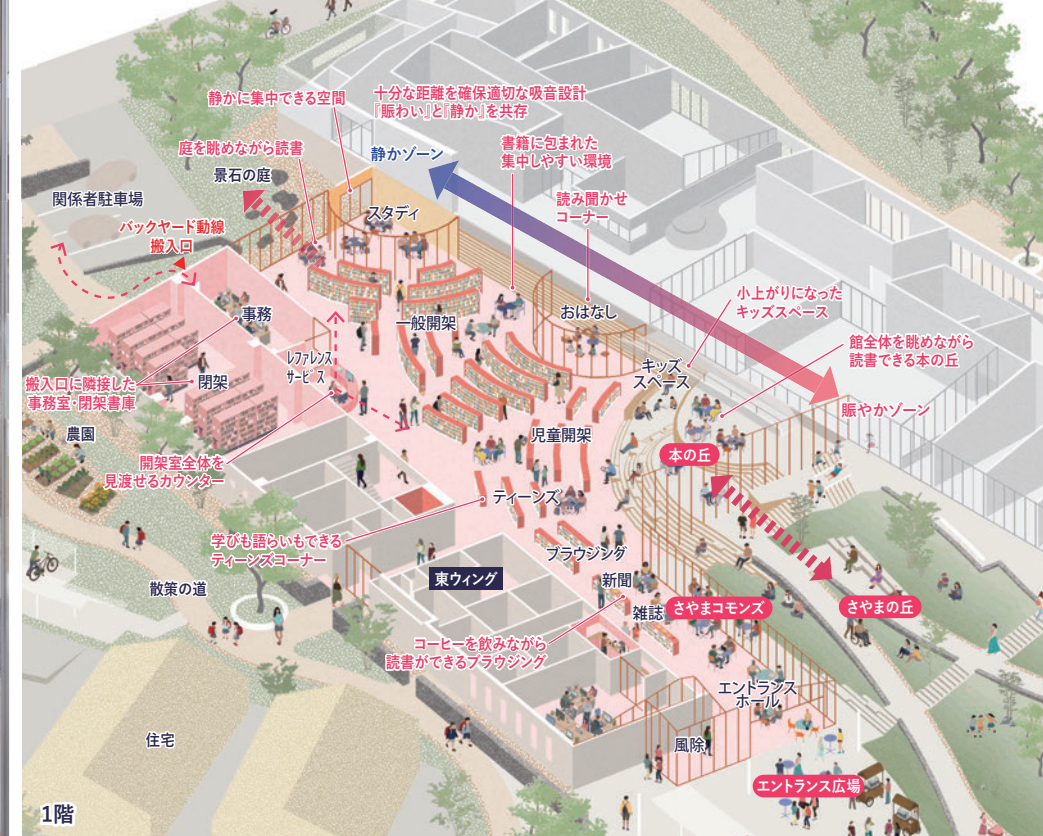


散策性のある書架配置

児童書架を低くする

03// 多世代が学べる、様々な居場所がある図書館

- 人通りが多く、エントランスホールに近い位置には新聞や雑誌を置き、気軽に会話や読書を楽しめる計画とします。
- 本の丘の周りに児童書架を配置します。おはなしの部屋、児童閲覧コーナーを設け、子どもが本に親しめる場所をつくります。
- 南側は静かに本を読んだり学習できる落ち着いた環境を整えます。外に面して庭の見えるスタディールームを配置します。



1階



04// 管理しやすく働きやすい事務エリア

- 搬入口に近接した南側に事務室と閉架書庫を配置し、業務効率を高めて職員の働きやすさを向上します。
- 全体を見渡せる位置に貸出カウンターを配置し、管理しやすい計画とします。

05// 共用部にも図書の配架を提案します

- 2階のさやま commons にも書架や家具を配置し、施設全体で本を読みながら、過ごせる場所を設えます。



市民活動支援機能 公民館機能 アクティビティが見える、多目的に利用可能な市民活動スペースをつくります

01// 使い方に合わせて選べる多目的室

a. 外にも内にもひろがる『多目的室A』

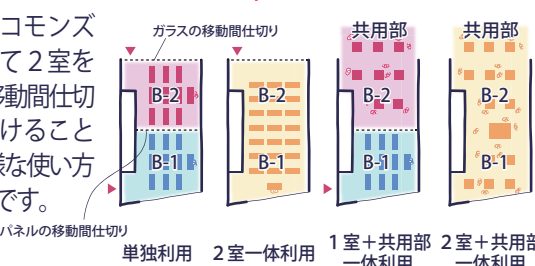
- 見晴らしテラスとの一体利用が可能です。
- ホワイエにも使える広いロビーに面しています。
- 各種イベントでの使いやすさに配慮して照明・音響設備仕様を検討します。



外部も内部も一体利用ができる多目的室

b. マルチに使える『多目的室B-1,B-2』

- さやま commons に面して2室を並べ、移動間仕切りを設けることで、多様な使い方が可能です。



単独利用 2室一体利用 1室+共用部 2室+共用部

c. 活動がよく見える『多目的室B-3』

- 吹抜とさやま commons に面する、開放的で活動をアピールしやすいスペースです。

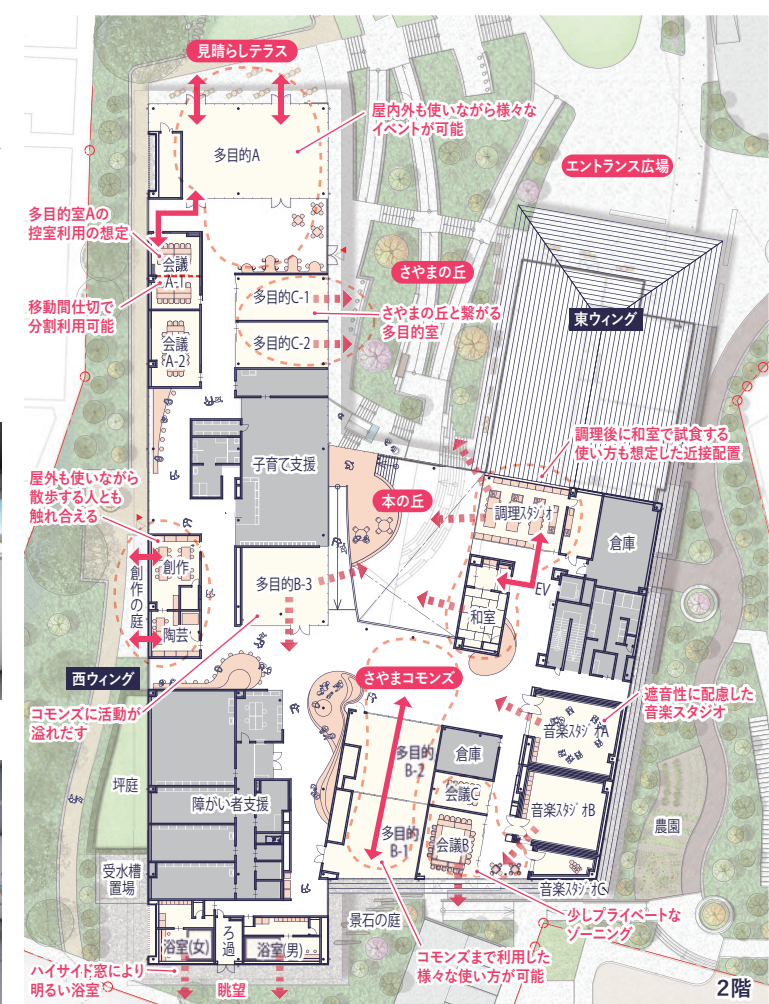


02// 遮音性を確保した音楽スタジオ

- 用途に応じた音環境を実現し、十分な遮音性を持たせて、屋外の近隣住宅や屋内の他諸室への影響を最小限に留めます。



音楽スタジオのイメージ



2階



様々なイベント利用を想定したグリッドレイアウト

外部から活動が見える

外部と直接つながる

ホワイエ (さやま commons)

外にも開いた使い方が可能な多目的室A

03// 内部や外部から見える調理スタジオ

- 調理スタジオは本の丘に面して配置し、施設を訪れる人の中の様子がわかるオープンな設えとします。
- さやまの丘に向かって開口を取り、外を感じられる心地よい活動の場を提案します。



04// マチの人とふれあえる創作・陶芸室

- 西側の落ち着いた環境に、庭と一体に利用できる創作・陶芸室を計画します。
- 散歩する人とも触れ合える、日常に溶け込んだ交流の場をつくります。



内外一体利用 散歩の道につながる創作室



01// 安心して過ごせる活動拠点

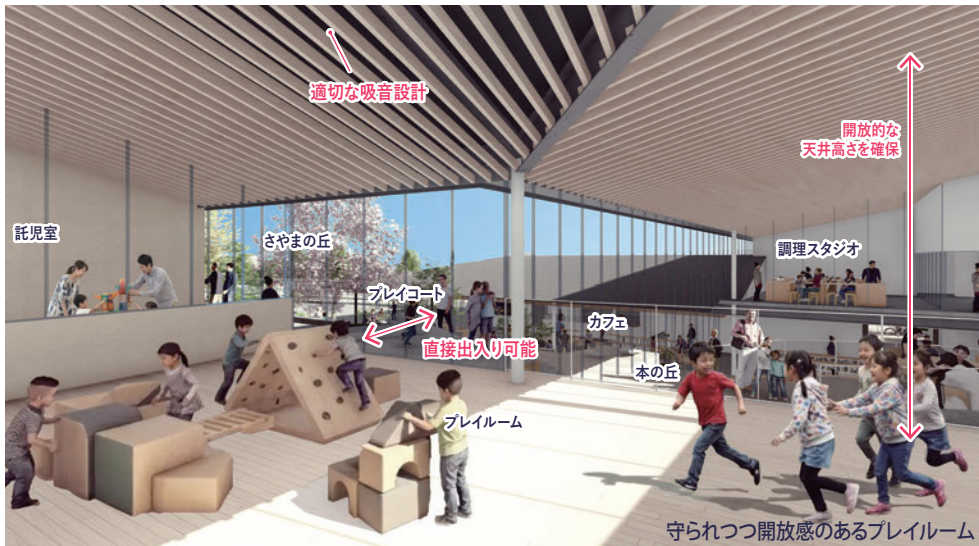
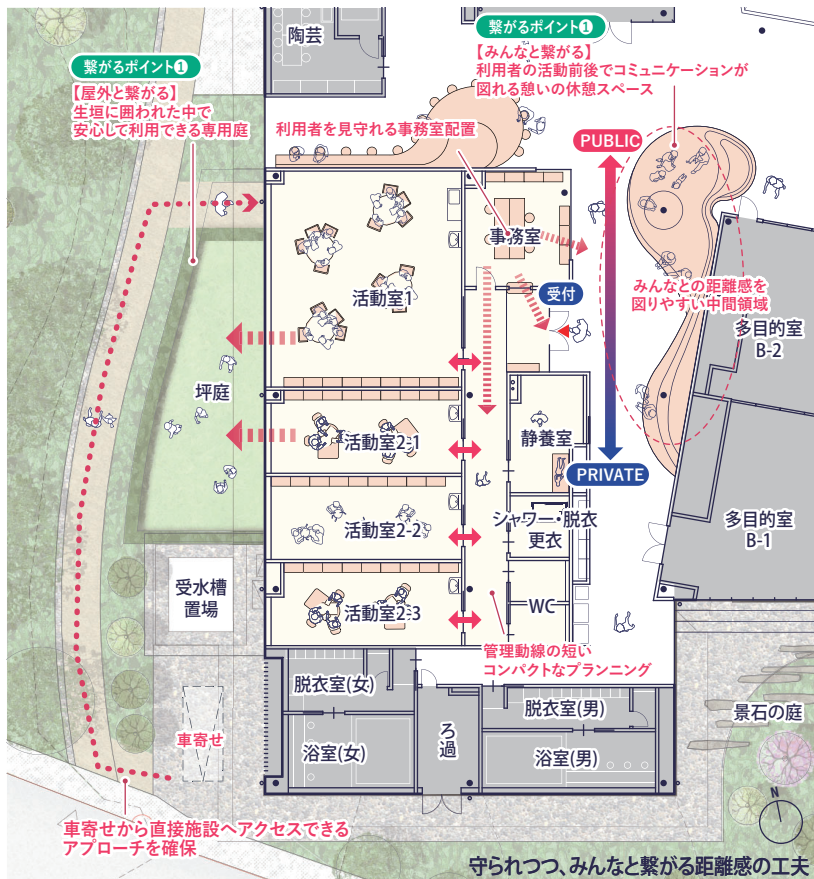
- ・プライバシー、低刺激性、静音環境に配慮して、賑わいから少し離れた、落ち着いたのある西側に、利用者にやさしい活動拠点を計画します。
- ・守られながらも閉鎖感を感じないよう、専用の坪庭に対して開き、自然採光・自然換気が可能な計画によって明るく開放的な活動室とします。
- ・西側の散策路から直接アクセス可能な専用入口を設けます。

02// 利用者が選べる、繋がる居場所

- ・共用部に面する出入口はオープンな共用部から少し奥まった位置に設けます。出入口付近に憩いの休憩スペースを設け、利用者が活動の前後で、コミュニケーションが図れる居場所を提案します。
- ・生垣などで視線を制御することで、安心して利用できる坪庭を提案します。屋外でみんなと繋がることができる居場所となります。

03// 目が行き届く施設管理

- ・事務室は共用部、入口、内部廊下が見渡せる配置とします。
- ・管理動線の短いコンパクトなプランニングを行います。
- ・南側道路に近い立地を活かし、短時間の利用者送迎や物品の搬出入など、運営しやすい施設計画を行います。

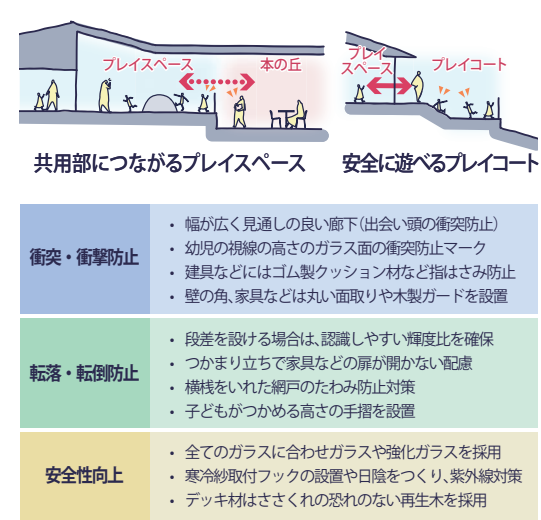


01// 出会いのチャンスがたくさんあるプレイルーム

- ・レベル差を活用したセキュリティによって、本の丘と空間が一体的に繋がるプレイルームを提案します。開放感ある安全な子どもの居場所を作ります。
- ・プレイルームから直接外部に出ることができるプレイコートを整備します。みんなに見守られながらも安全に遊ぶことができます。

02// 見守る保護者にも多様な選択肢

- ・死角のない見通しのよい計画とし、安心して子どもを見守ることができます。
- ・おじいちゃんはプレイルームで孫と過ごしながら【居場所①】、お母さんは本の丘で本を読んだり【居場所②】、散策の道を眺めながらゆっくり佇む【居場所③】こともできます。
- ・少し気配を感じながら、すぐに駆け付けられる距離感でゆっくり過ごしたい保護者のニーズにも寄り添います。



03// 目配り・気配りの行き届く遊び場づくり

- ・子どもの目線に立った安全・安心なディテールを徹底し、衝突や転倒防止など子どもの安全性に配慮した、安心して遊べるプレイルームを計画します。

みずみずしい生活の賑わいを感じる大阪狭山の新たな居場所をみなさまとともにつくります

